

# 3都3県を輝く「Vibrant INOCHII」を世界へ！

## 1都3県で開催される初の万博

先の全国知事会の場で、他県の複数の知事から、「国際園芸博覧会が万博だと知らなかった」と言われ、ショックを受けました。2023年、「GREEN×EXPO 2027」という呼称が決まりましたが、それまでは「国際園芸博覧会」と言ってきたので、いわゆるあの「万博」とは結びついていなかったでしょう。「大阪・関西万博の2年後の2027年には、1都3県で初めての神奈川・横浜万博、『GREEN×EXPO 2027』が開催される」ということを、もっともっと強力にアピールしていく必要があるのではないのでしょうか。そのため、神奈川県は横浜市と一体となって、全力を挙げて盛り上げていきたいと思っています。

54年前、日本で初めての「万博」が大阪で開催された時、私は中学生でした。当時住んでいた神戸から会場に何度も足を運び、興奮したことを今でもよく覚えています。三つの超人気パビリオンを1日で制覇しようと、開門から閉門まで、延べ9時間も列に並んだりもしました。

その「万博」が神奈川・横浜の地で開催されるというのは、夢のような気がします。今からワクワクしています。

## 神奈川の花き園芸の風土、特色

920万人の県民が暮らす本県を、私はいつも「日本の縮図」と言っています。横浜や川崎などの大都市がありながら、のどかな田園地帯、湘南の海、丹沢の山々、古都鎌倉、箱根の温泉保養地など、風光明媚で緑豊かな

神奈川県知事

黒岩祐治

くろいわ ゆうじ



自然環境にも恵まれています。

こうした環境の中で、本県では、消費地に近いことを活かした「都市農業」が営まれており、様々な野菜や果物が生産されています。さらに、横浜開港により西洋文化が広がったことを契機として、全国に先駆けて花き園芸が発展した、という歴史もあります。在留外国人の花き需要や、ユリ、ハナショウブ、シヤクヤク、ボタン等の輸出需要の高まりにより、横浜から全国へと花き栽培が広がっていったのです。

今日では、県央・湘南地域のバラやカーネーション、スイートピーなどの切り花、川崎のハナモモなどの枝物、横浜のシクラメンなどの鉢物、また、横浜や藤沢などを中心に栽培されている花壇用苗物というように、県内各地に花きの産地が形成されています。そし



2023年9月 GREEN×EXPO 2027  
「共創キックオフ・ミーティング」



農福連携庭園

## 「5Gと輝く「Vibrant INOCHI」をテーマに神奈川の魅力を発信」

「GREEN×EXPO 2027」の開催理念にも掲げられているように、国際園芸博覧会のコンテンツの中心となる「花や緑、農、食」は、私たちのいのちや暮らしを支え、また、世代を超えて感動や笑顔をもたらすものです。そして、これは、神奈川県政の基本理念である「いのち輝く」というコンセプトとも一致すると強く感じています。

こうした、緑豊かで多様な環境と花き園芸の歴史を持つ神奈川の地で、「花き園芸・造園の振興や、花と緑のあふれる暮らし」などをうたう「GREEN×EXPO 2027」が開催されることは大きな意義があると考えています。

例えば、農業分野での障がい者の活躍を促進する取り組みである「農福連携」のモデル庭園を造り、誰もがその人らしく笑って、生き生きと暮らすことができる共生社会の実現をPRするほか、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した脱炭素農業モデルやデジタル技術を活用したスマート農業などの展示を通じて、持続可能な農業の推進をPRしていきたいと考えています。

また、県立高校の生徒や、地域の様々な団体で活躍している子どもたちなどが、この国際的ビッグイベントである万博に参加し、活躍できる機会を

作ることで、未来を担う次世代の人材を育成していきたくとも考えています。

さらに、花き園芸・造園・農を中心とした様々な先端技術が結集するこの機会に、県内企業の特徴ある技術を披露する場づくりも検討していきます。

あわせて、「かながわブランド」に登録されている農畜水産物の紹介や、横浜市をはじめ箱根や鎌倉、城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域など、多彩で見どころ満載の県内の観光名所などの情報を発信し、国内外から来場される皆さまに神奈川の魅力を満喫していただけるような観光ルートも提案していきます。

## オール神奈川で園芸博を盛り上げ

まずは今、われわれが取り組むべき課題は、冒頭にも触れた通り「GREEN×EXPO 2027」の認知度の向上です。県立の植物園、県立高校をはじめとする県立のあらゆる施設で周知を徹底していきます。県庁内にはカウンタダウンボードを設置して機運醸成を図るとともに、市町村と連携した地域イベントなどの場を活用し、きめ細かく周知してまいります。

横浜市民のみならず、神奈川県民全体が「GREEN×EXPO 2027」は地元の大イベントであるという認識を持って、行政・企業・団体・NPOなどを巻き込み、オール神奈川で大成功を目指してしっかりと取り組んでまいります。

また、県立